

2022年10月14日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 データ・キュービック
株式会社 YMFG ZONE プラニング

下関市立大学との地域人材育成にかかる包括連携協定締結について

山口フィナンシャルグループ(代表取締役社長CEO 椋梨 敬介)およびその子会社であるデータ・キュービック(代表取締役社長 原田 紘幸)、YMFG ZONE プラニング(代表取締役社長 藏重 嘉伸)は、地域の発展に資するため、特にデータ・サイエンス分野の優秀な人材の育成に向けて、下関市立大学と互いに連携・協力することに合意し、包括連携協定を締結いたしましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 包括連携協定の目的

下関市立大学が総合大学化により、下関市スマートシティ推進事業に掲げる高度専門人材の育成を担う中、特にデータ・サイエンス分野における人材育成において、当事者が相互に包括的に連携・協力した取組等を行うことにより、もって地域の発展に資することを目的とする。

2. 包括連携協定の枠組みにおいて実現を図りたいこと

- (1) 地域データを利活用した共同研究実施により、ALL「地域」で共創するDXに取組み、地域課題の解決策・地域のデジタルトランスフォーメーションを実現する。
- (2) YMFGが保有するネットワークを活用し、ビジネス実務者を講師として招聘。地元・都市圏でのビジネスの状況を学生に情報提供することで、大学のプログラムの充実、学生のマインド醸成を図る。
- (3) 新学部生にはインターンシップ・PBL等のビジネス実践を通じて、ビジネスマインドを高め、地域のビジネスを理解したデータサイエンス人材の育成および地域での活躍を支援する。
- (4) その他奨学金支援等、データ・サイエンス分野の優秀な人材確保・育成に関して、地域人材プラットフォームに伴う、社会人向け講座設置により社会人向けのリスキリングの場を構築するとともに、スキルを高めた人材が地域に還流していく仕組みを整える。また、卒業後YMFGに就職する学生への奨学金返済支援など資金面での支援充実を図る。

3. 各社の役割

締結者	役割
下関市立大学	■ 2024年に新学部設立、山口フィナンシャルグループとの共同研究・人的交流の場の提供
山口フィナンシャルグループ	■ 大学事務局と連携しての関係者の調整 ■ 大学との連携策の企画・立案
データ・キュービック	■ 地域企業対応の知見提供(地域企業のデータ活用)
YMFG ZONE プラニング	■ インターンシップ・自治体連携の知見提供(国や政府の事業受託や補助金制度の活用等)

4. 調印式

日時	2022年10月14日（金）10時30分から
場所	下関市立大学本館Ⅱ棟5階大会議室
締結者	下関市立大学 学長 韓 昌完 山口フィナンシャルグループ 代表取締役社長CEO 椋梨 敬介 データ・キュービック 代表取締役社長 原田 紘幸 YMFG ZONE プラニング 代表取締役社長 藏重 嘉伸

【調印式の様子】



（左から藏重社長、韓学長、椋梨社長、原田社長）

5. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「③地域コミュニティとの連携強化」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・経済活性化への取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役職員全員の働きがいへの取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 （ダイバーシティ&インクルージョン）	 強固な経営基盤づくりへの取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ DX戦略部
 担当：佐々木 TEL：082-236-0003